

熊本商工会議所 2021年経済予測アンケート 調査結果

KEY WORD

- ★景気の現状…「悪化」の割合が増加し、「好転」を大きく上回っている。
(2020年11月)
- ★業況の見通し…「好転」は4分の1に留まり、約半数が「悪化」を予測。
- ★円市場予測 …半数以上が「ほとんど変化はない」と予測。
- ★株式市場予測 …高値水準を反映し、約4割が「株安傾向」と予測。
- ★金利予測 …約8割が「ほとんど変化はない」と予測。
- ★経営上の問題点 …「新型コロナウイルス感染拡大」とそれに関連した
「需要やニーズの停滞・変化」に集中。
- ★2020年の売上 …【全体】では、前年同月比“-20.6%”となり、最小値
(対前年比) “-98.0%”から最大値“+250.0%”と業種・業態で明暗
が分かれた。
- ★「ウィズ・コロナ」の観点で行っている(検討している)取組
…「三密回避やアクリル板設置等の室内環境の改善」が
58.2%、次いで「金融機関等からの資金調達」が34.5%
- ★新型コロナウイルス感染症による影響がいつまで続くと想定されるか
…「2021年夏頃から冬頃」までとの予想が55.3%

熊本商工会議所

2020年12月

<本調査の問い合わせ>

熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課
TEL354-6688 FAX352-5202

熊本商工会議所
2021年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 回答企業	2
3. 景気の現状	3
4. 業況の見通し	4
5. 円市場予測	12
6. 株式市場予測	13
7. 金利予測	14
8. 経営上の問題点	15
9. 経営上の重視点	16
10. 新型コロナウイルス感染拡大について	18

※ 巻末…「2021年経済予測アンケート」調査用紙

調査概要

1. 調査期間 令和2年 11月 19日(木)～11月 26日(木)

2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 100名
熊本商工会議所経営動向調査モニター企業代表者 398名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため
報告書においては小規模企業と表記する)

3. 配布数 498名

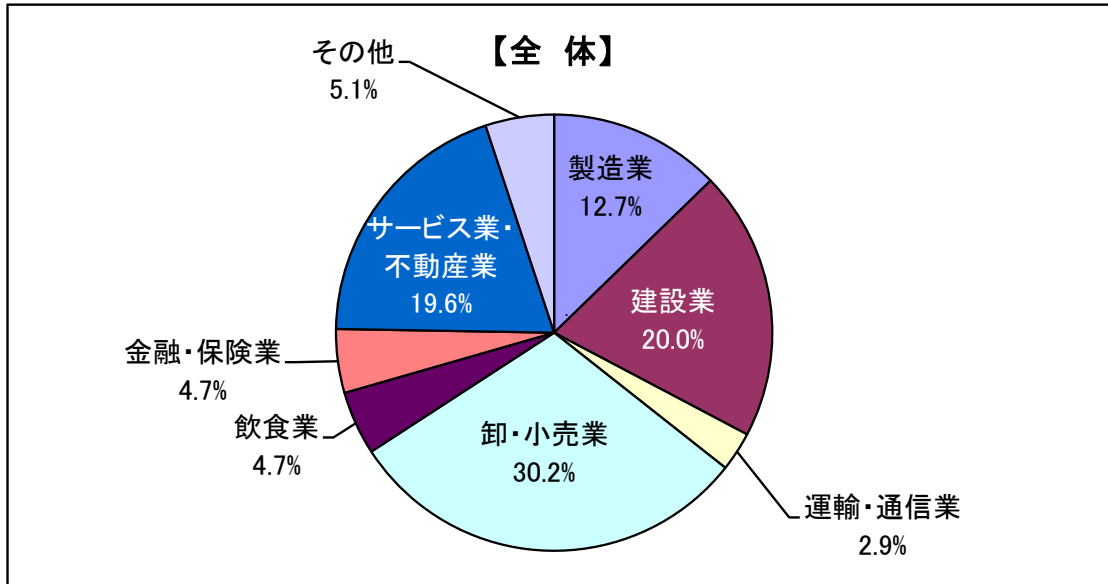
4. 調査方法 調査用紙配布:FAX・メール又は郵便送付
調査票回収:FAXまたはWEBフォーム、メールによる回答

5. 回答者数 275名(有効回答率 55.2%)

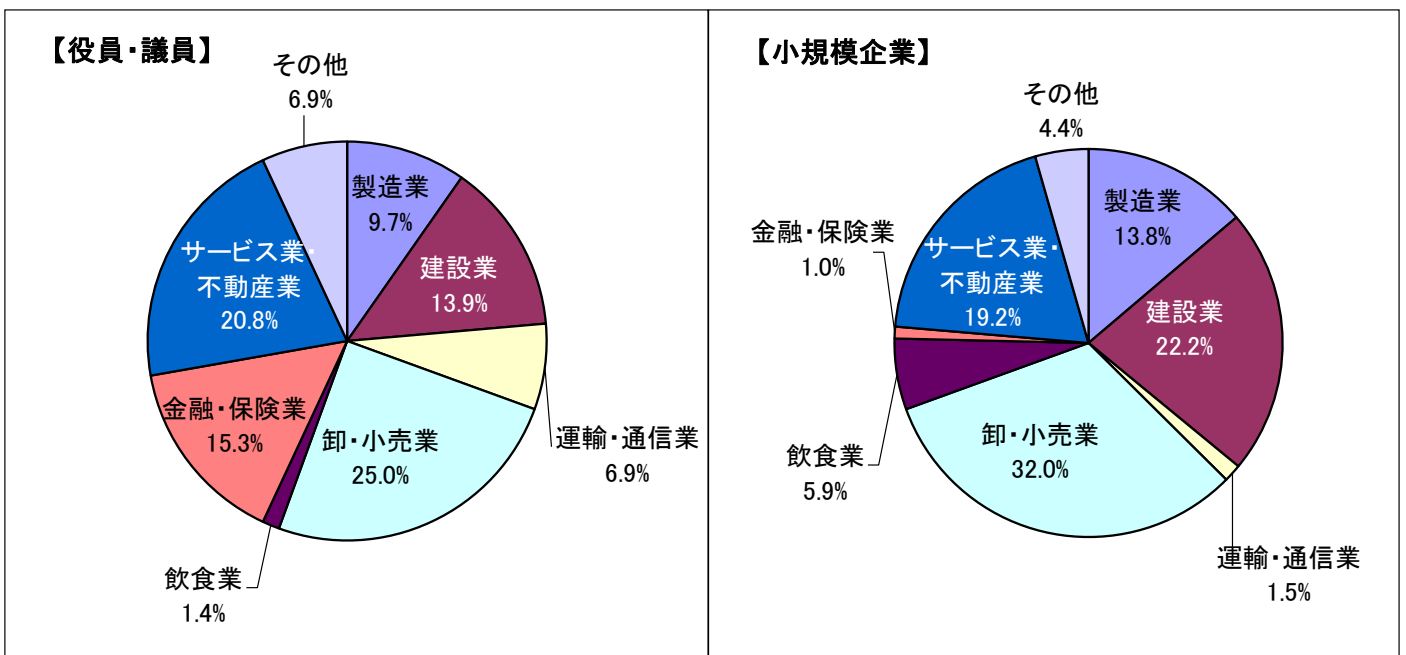
6. 調査機関 熊本商工会議所

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

回答企業

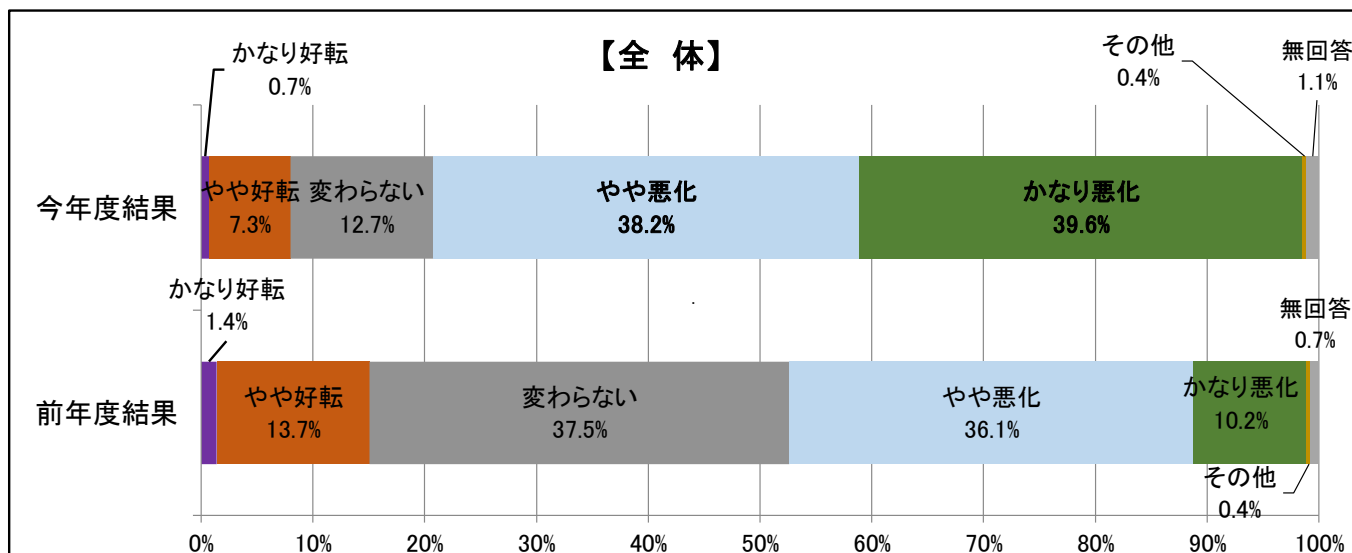


規模別の回答企業



2020年11月 景気の現状

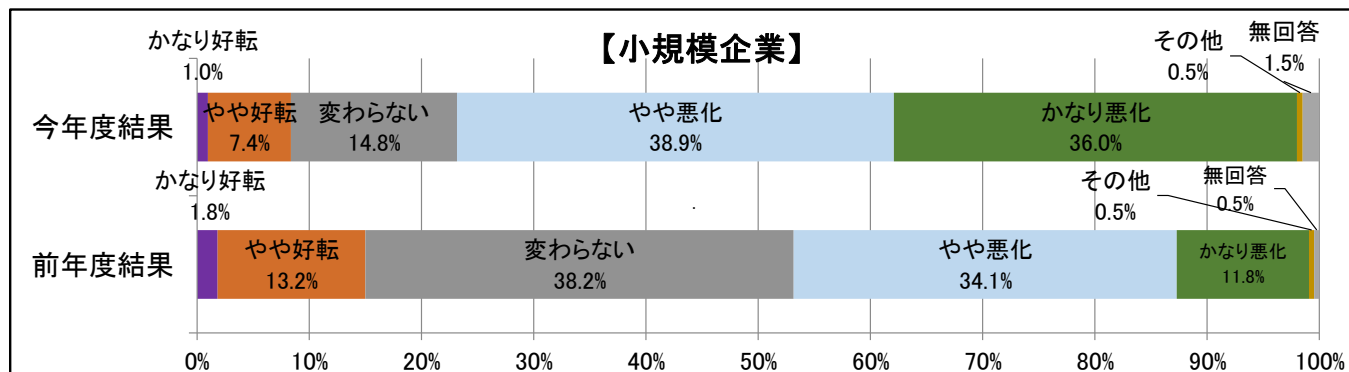
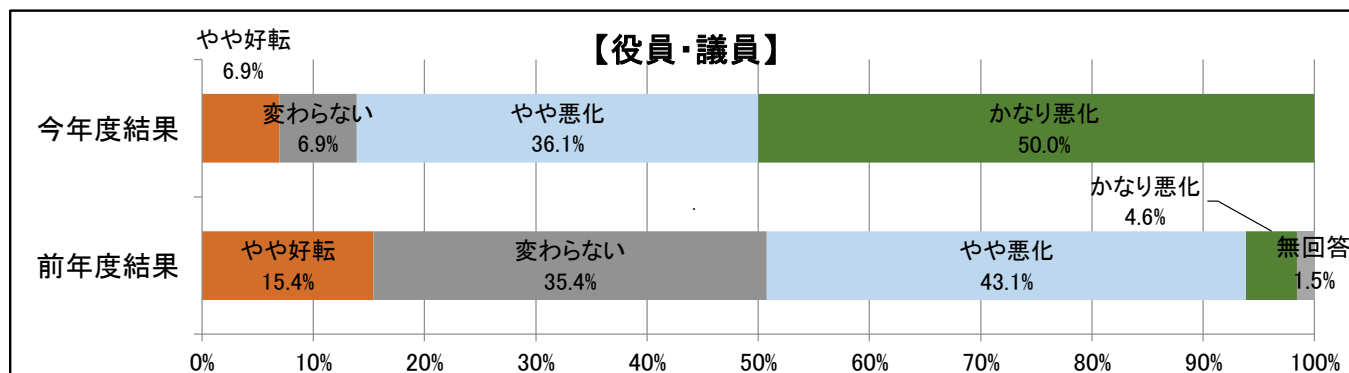
「悪化」が77.8%（対前年比+31.5%）で、「好転」8.0%（対前年比-7.1%）を大きく上回る。



「悪化」が77.8%（対前年比+31.5%）、「好転」は8.0%（対前年比-7.1%）で、悪化が69.8%上回った。

2020年11月 規模別の景気の現状

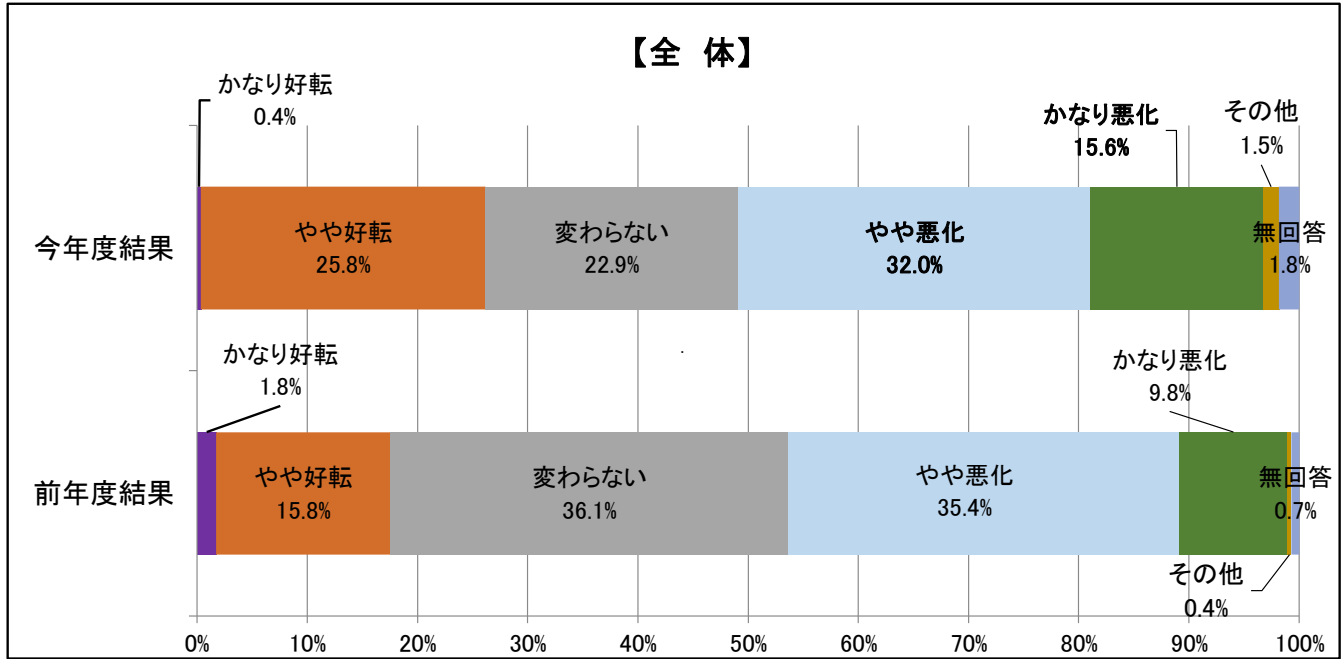
【役員・議員】は「かなり悪化」が半数を占め、【小規模企業】は「やや悪化」が最も多くなっている。



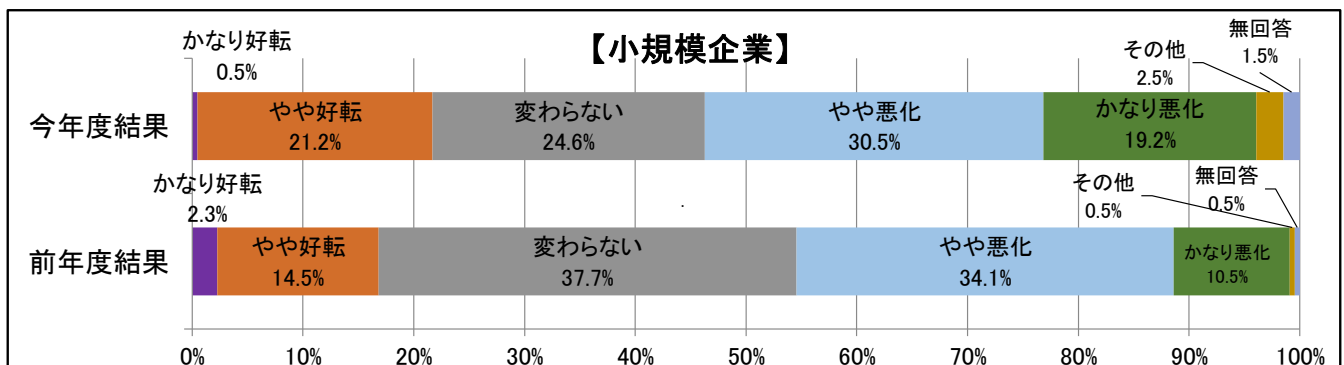
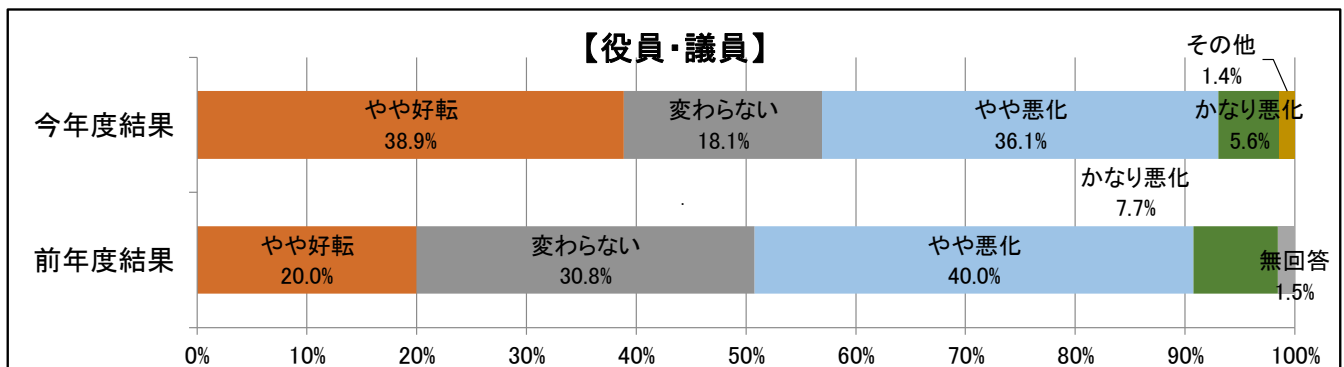
2021年 業況の見通し

全業種

好転予測は4分の1(26.2%)に留まり、約半数(47.6%)が悪化を予測。

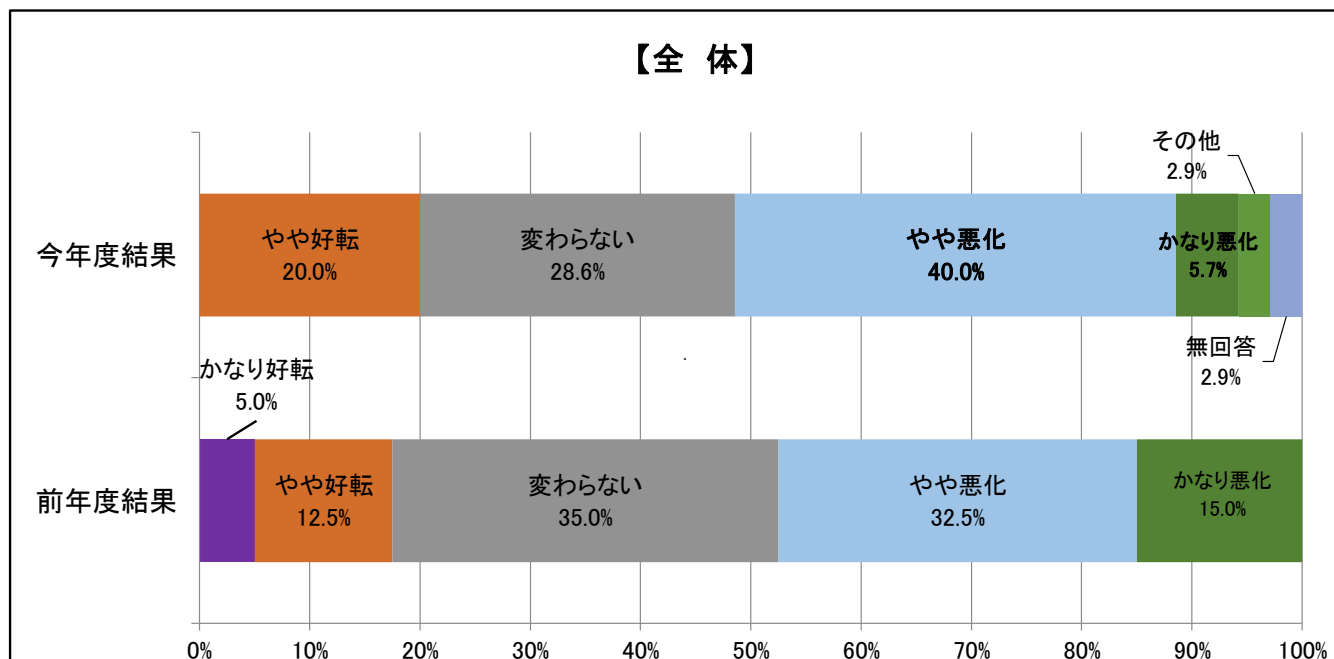


全業種の見通しは、「好転」は26.2%(対前年比+8.6%)、「悪化」が47.6%(対前年比+2.4%)で、悪化が21.4%上回った。

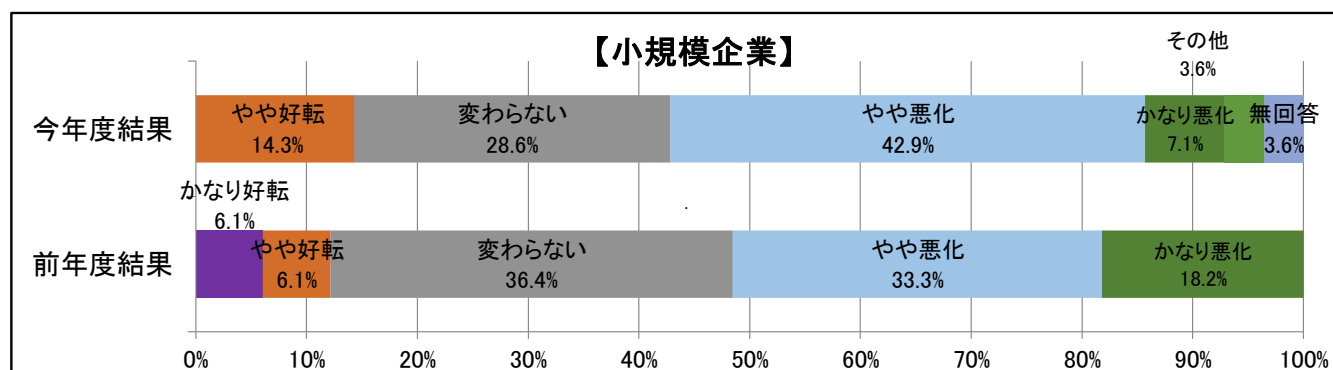
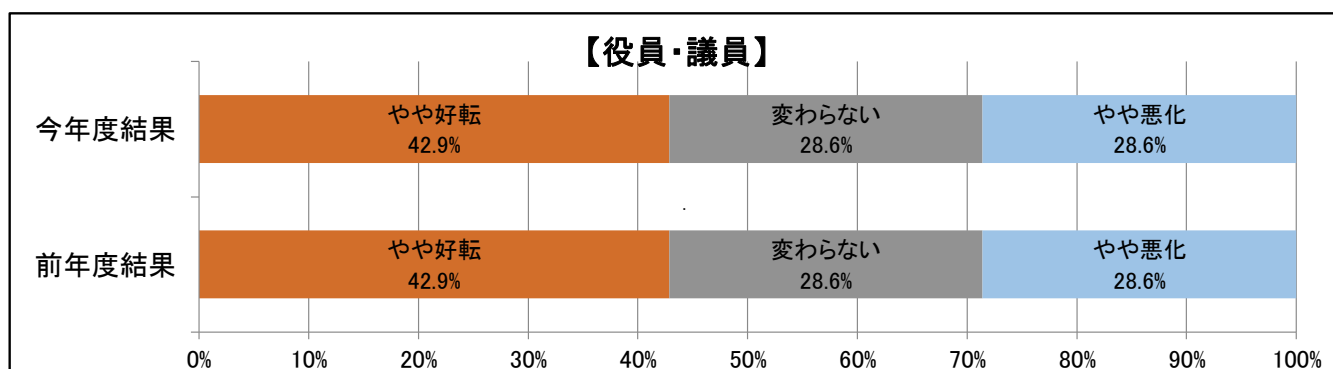


2021年 業況の見通し

製造業



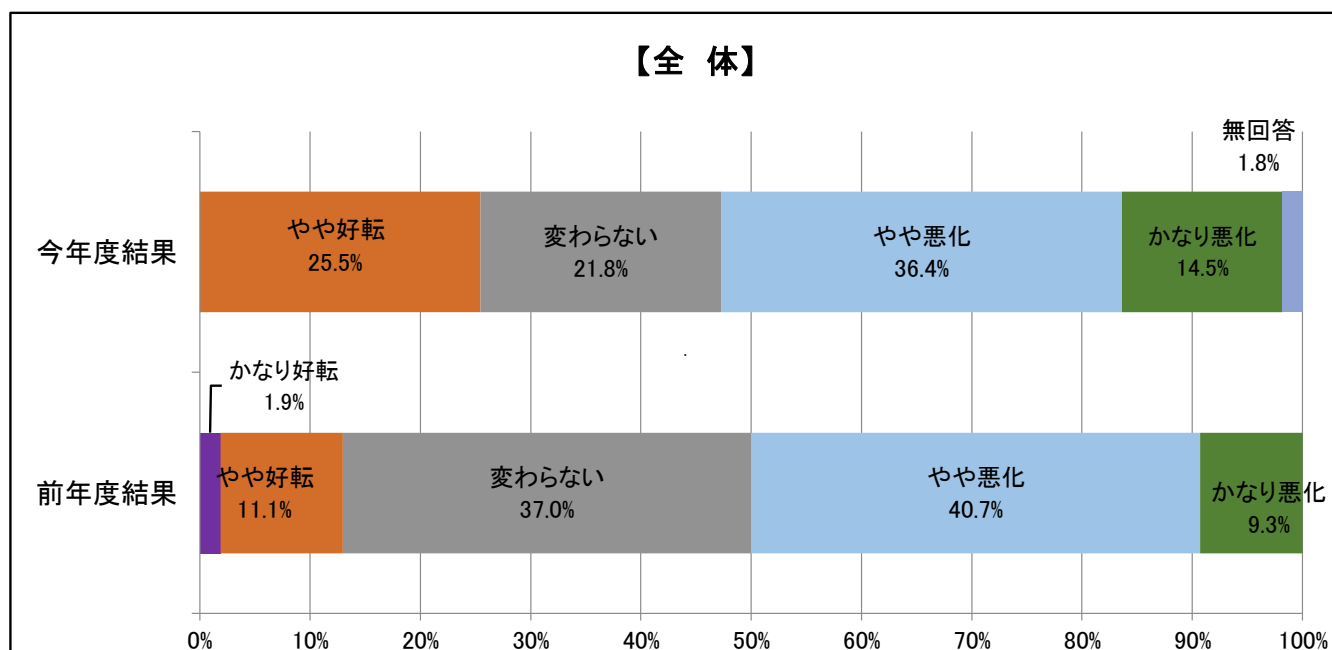
製造業の見通しは、「好転」は20.0%(対前年比+2.5%)、「悪化」が45.7%(対前年比+1.8%)で、悪化が25.7%上回った。



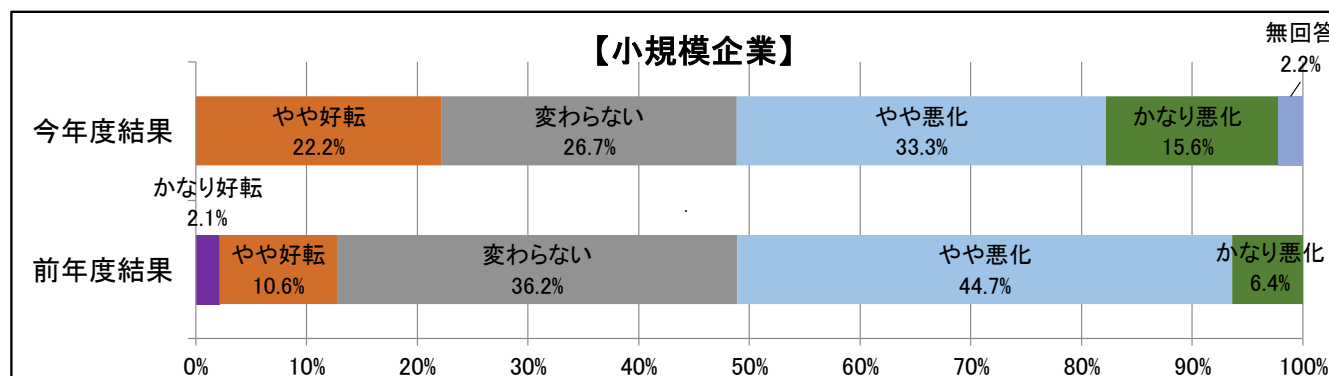
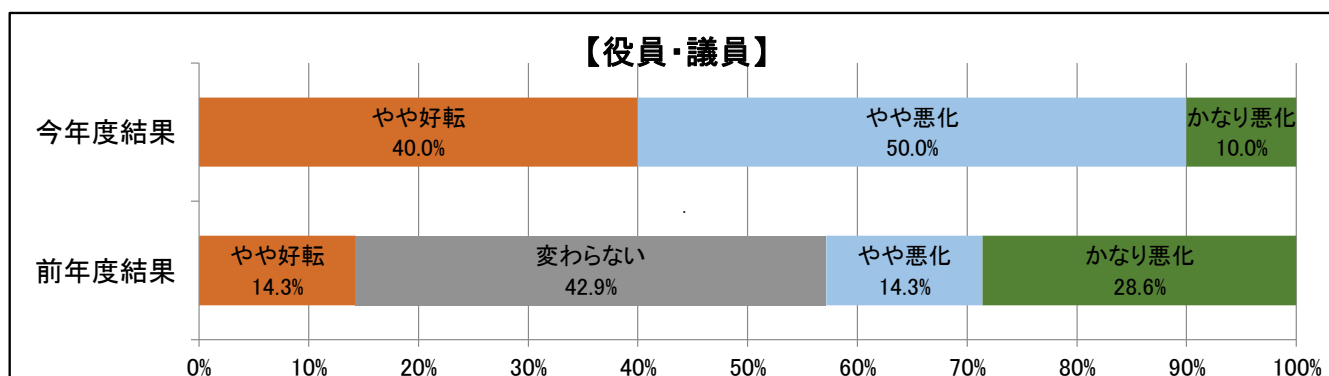
【役員・議員】は「やや好転」が42.9%(対前年比±0%)、【小規模企業】は「やや悪化」42.9%(対前年比+9.6%)が最も多くなっており、【小規模企業】の方が厳しい見通しを示した。

2021年 業況の見通し

建設業



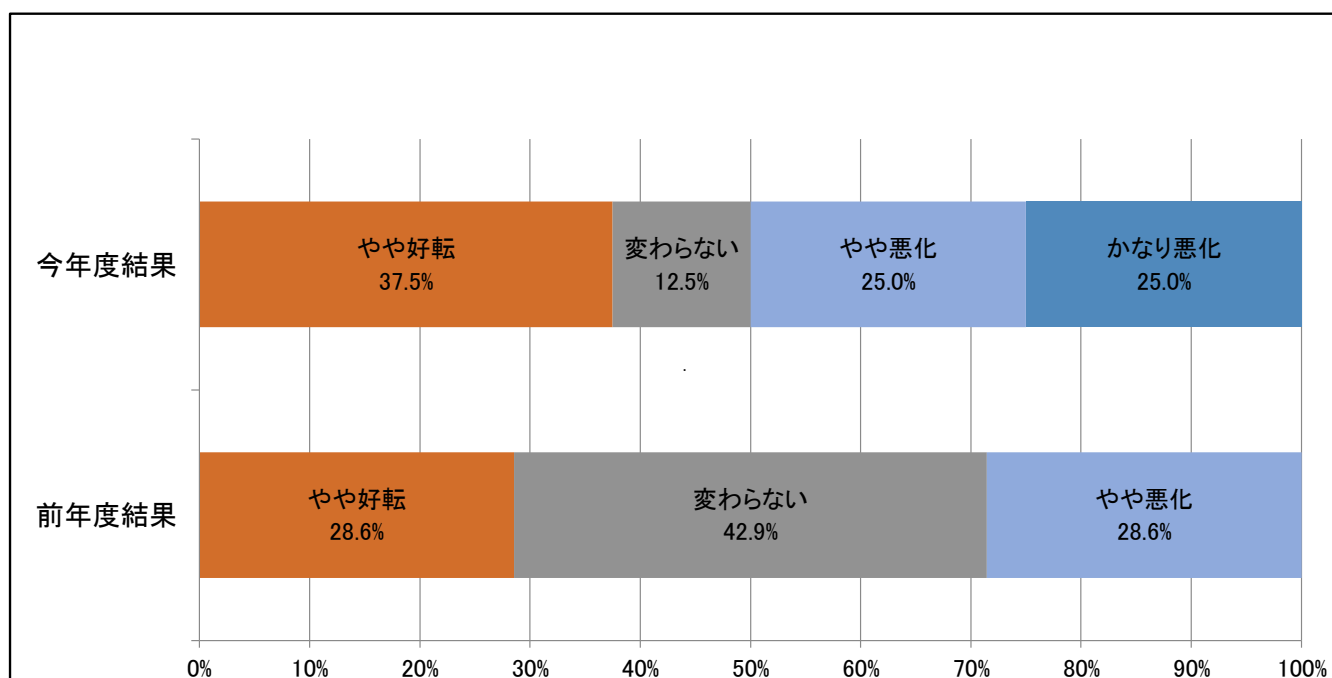
建設業の見通しは、「好転」は25.5%(対前年比+12.5%)、「悪化」が50.9%(対前年比+0.9%)で、悪化が25.4%上回った。



【役員・議員】は、「悪化」が60.0%(対前年比+17.1%)と半数以上は厳しい見通しを示している。一方で、「好転」が40.0%(対前年比+25.7%)と好転割合は拡大している。

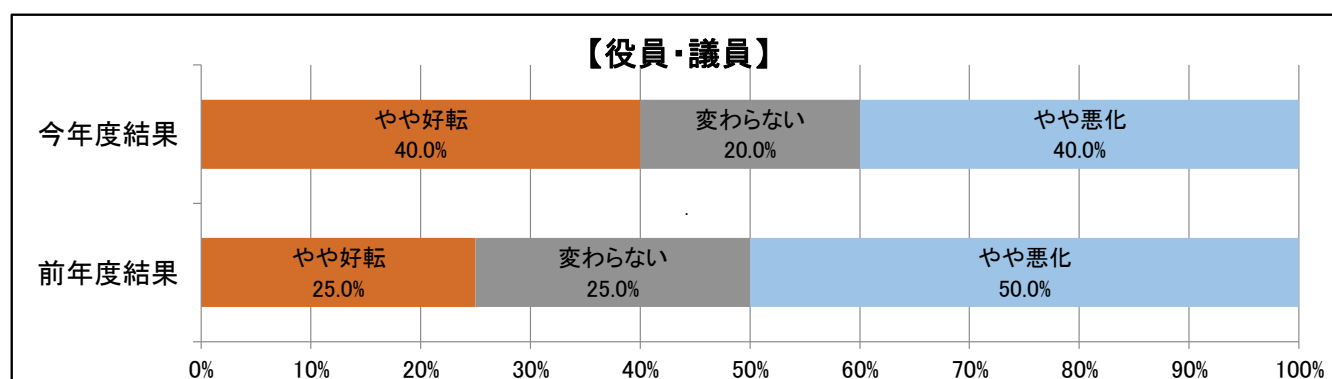
2021年 業況の見通し

運輸・通信業



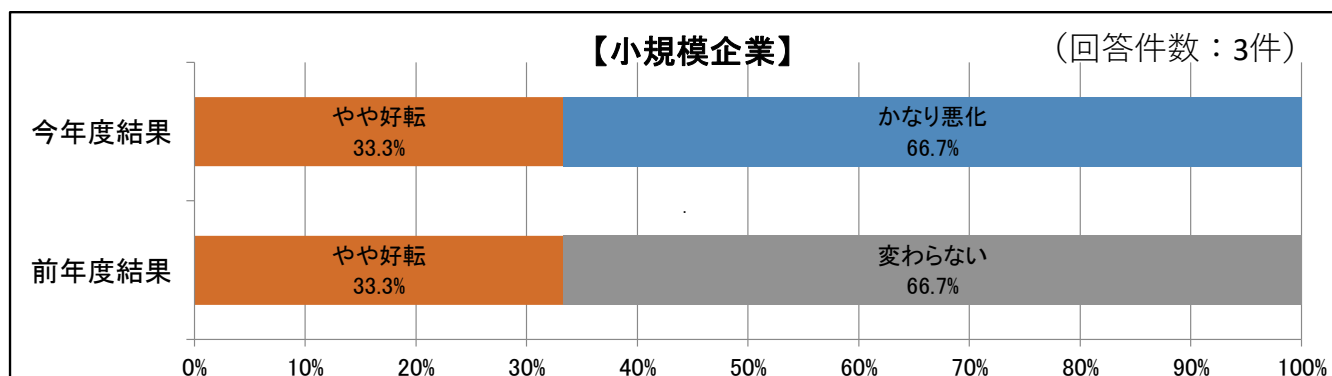
運輸・通信業の見通しは、「好転」は37.5%(対前年比+8.9%)、「悪化」が50.0%(対前年比+21.4%)で、悪化が12.5%上回った。

【役員・議員】



【小規模企業】

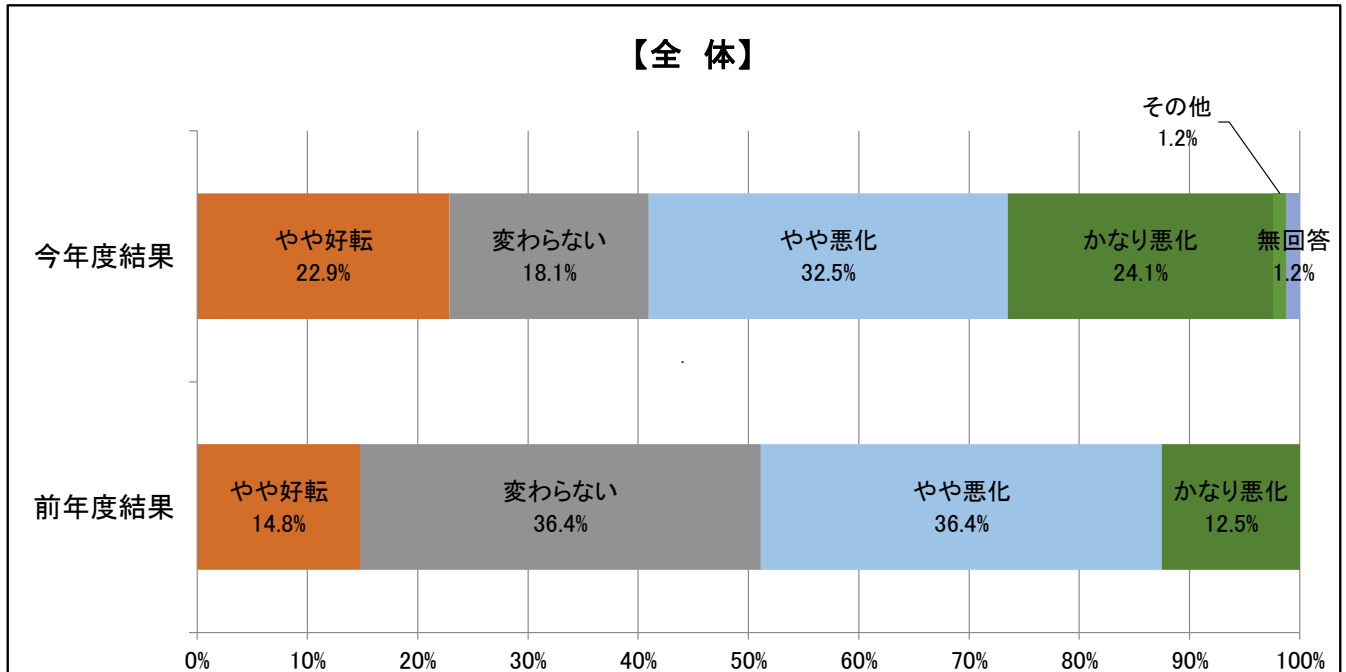
(回答件数：3件)



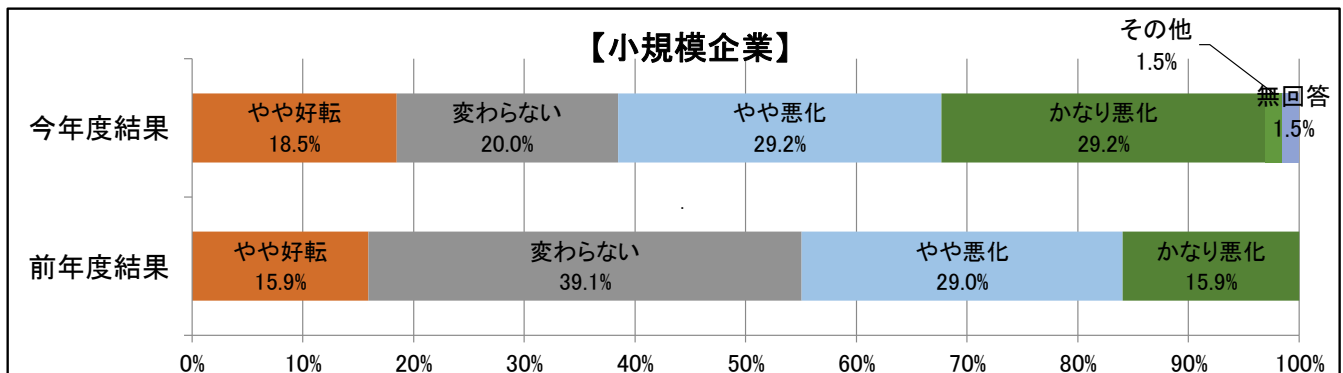
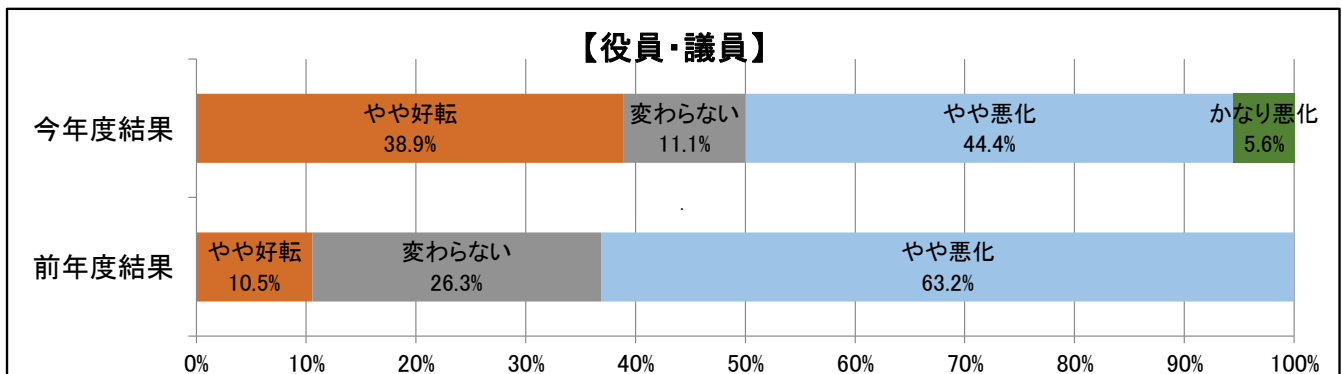
【役員議員】は「好転」が40.0%(対前年比+15.0%)、「悪化」は40.0%(対前年比-10.0%)と同じ割合だった。

2021年 業況の見通し

卸売・小売業



卸売・小売業の見通しは、「好転」は22.9%（対前年同月比+8.1%）、「悪化」が56.6%（対前年同月比+7.7%）で、悪化が33.7%上回った。

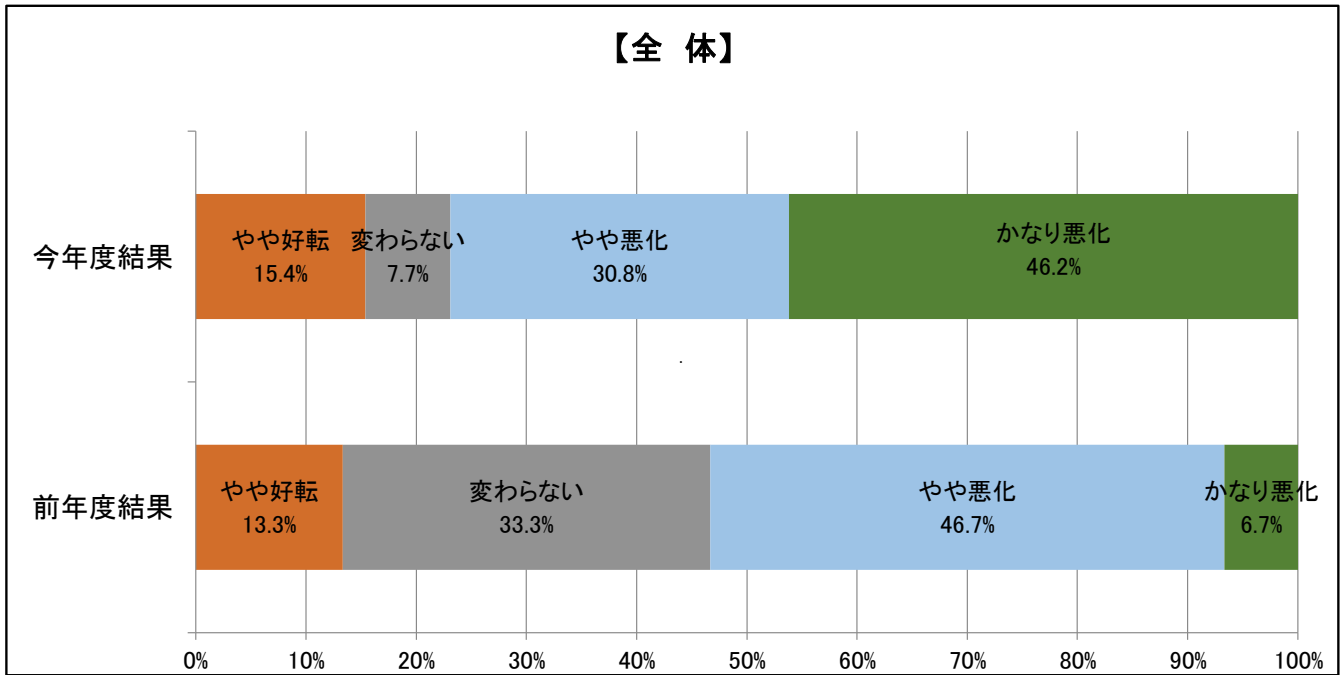


【役員・議員】は、悪化が50.0%（対前年比-13.2%）と半数が厳しい見通しを示している。一方で、「好転」が40.0%（対前年比+25.7%）と好転割合は拡大している。

2021年 業況の見通し

飲食業

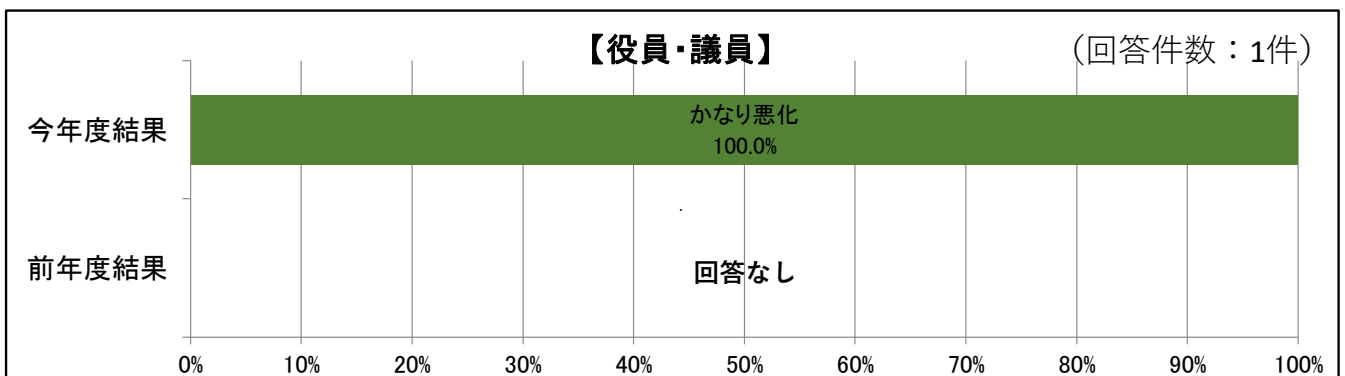
【全体】



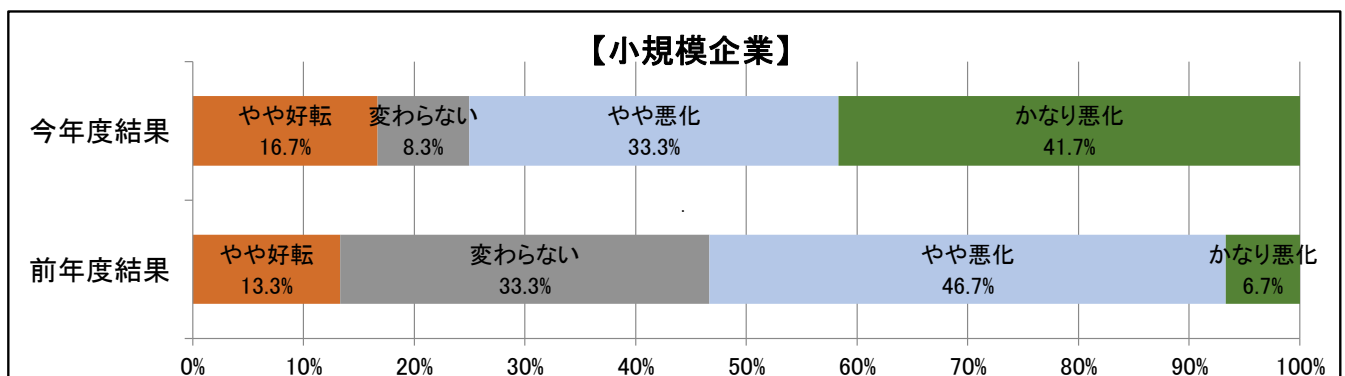
飲食業の見通しは、「好転」は15.4%（前年比+2.1%）、「悪化」が77.0%（対前年比+23.6%）で、悪化が61.6%上回っており、全業種の中で最も厳しい見通しを示した。

【役員・議員】

（回答件数：1件）

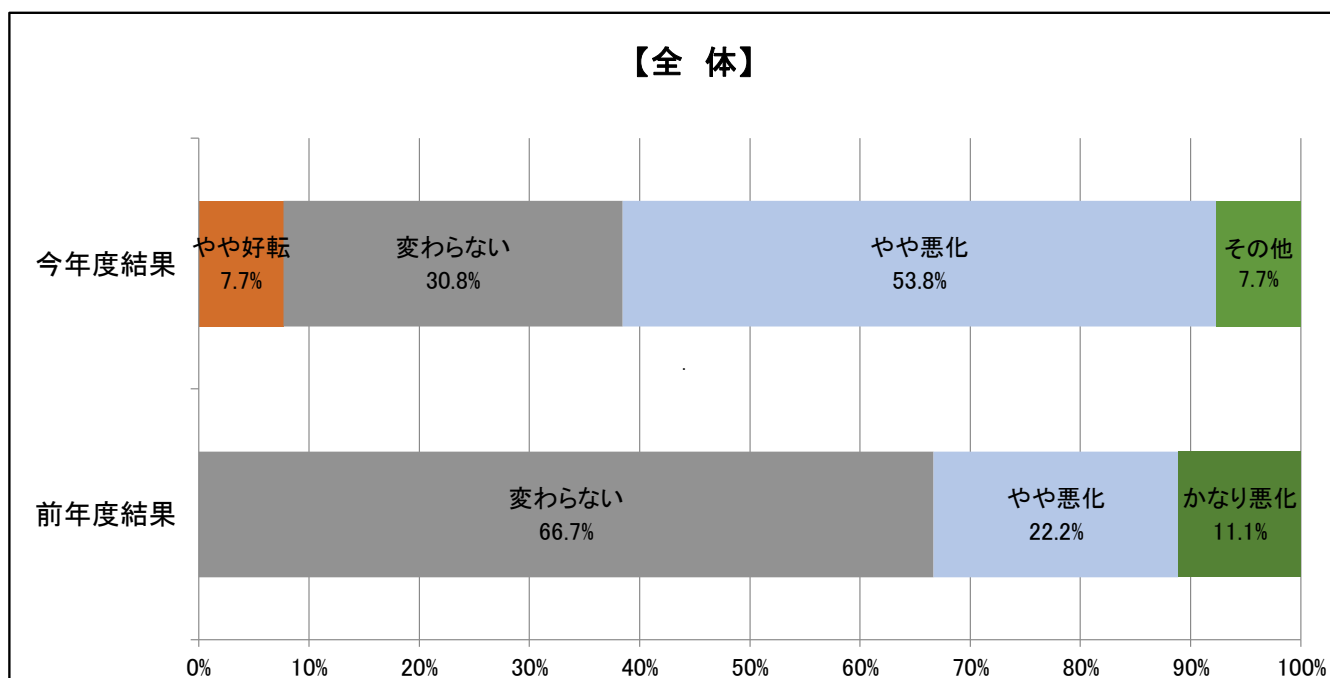


【小規模企業】

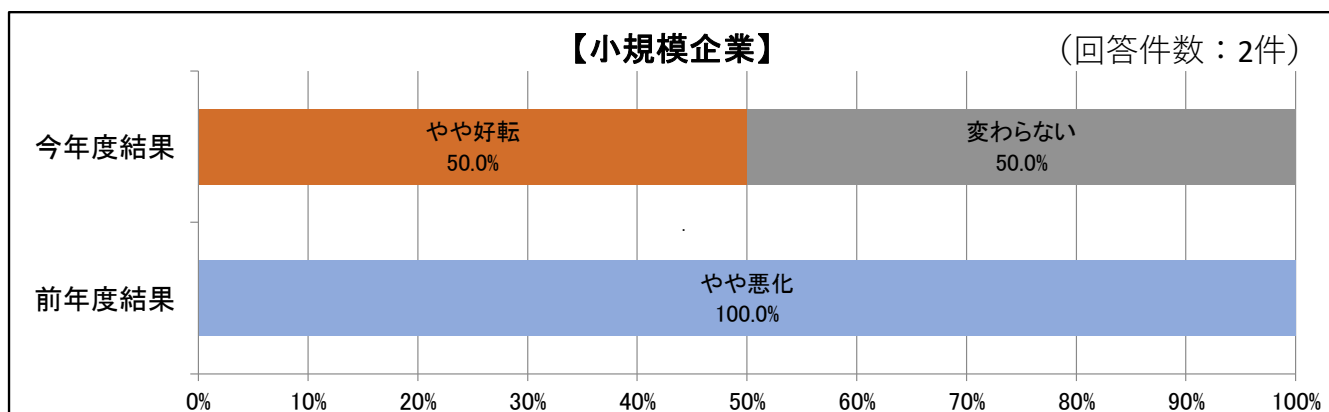
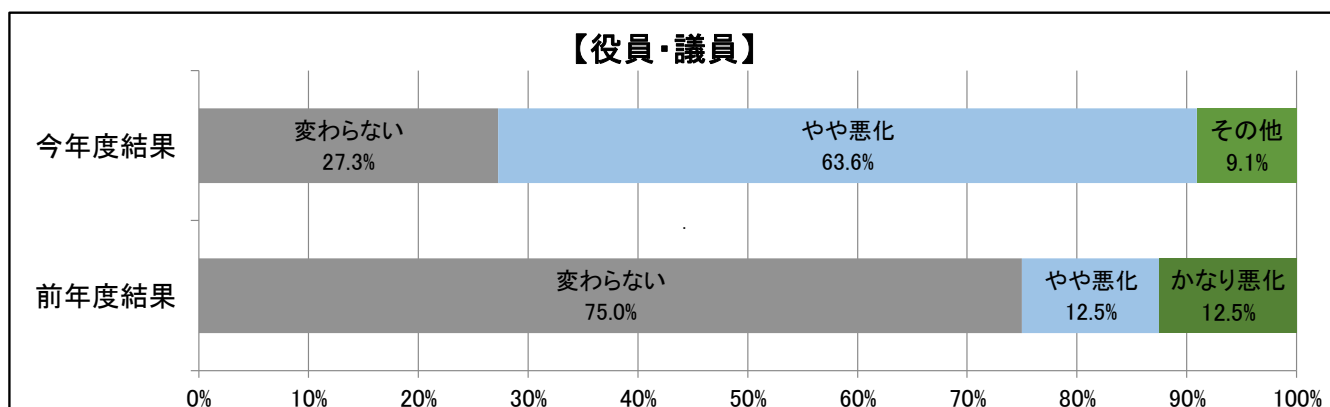


2021年 業況の見通し

金融・保険業

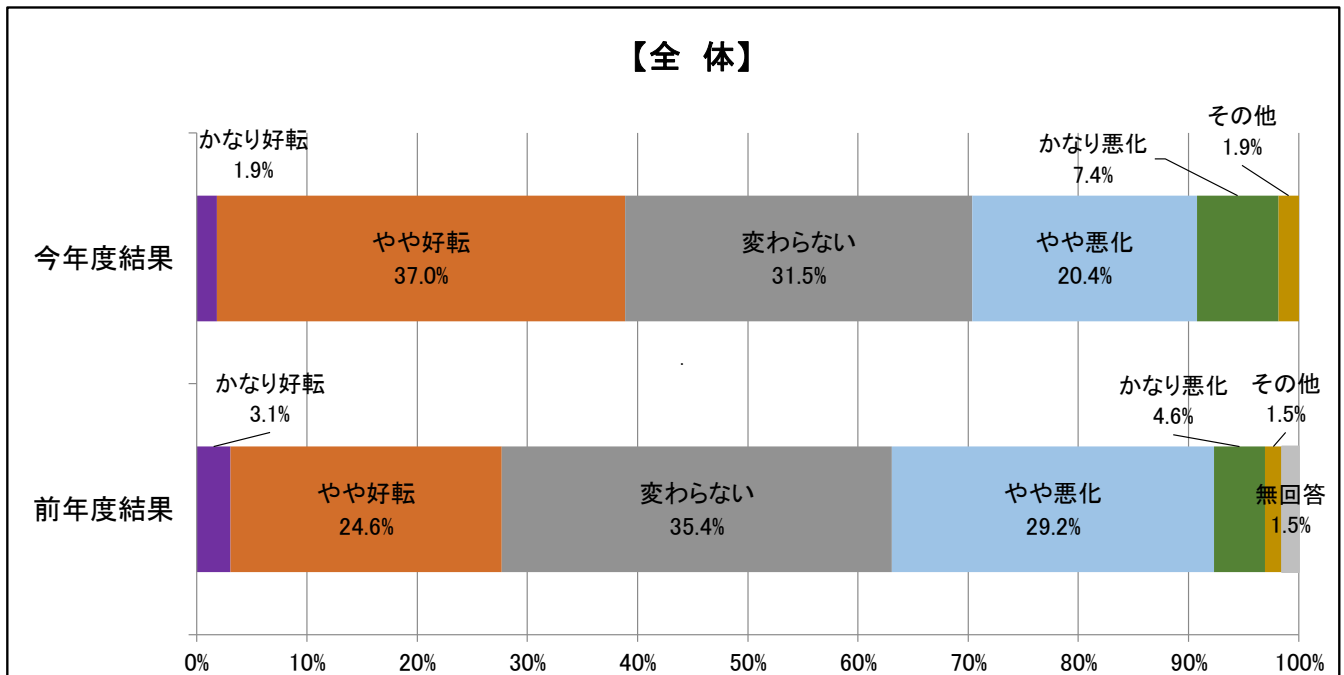


金融・保険業の見通しは、「好転」は7.7%(対前年比+7.7%)、「悪化」が53.8%(対前年比+20.5%)で、悪化が46.1%上回った。

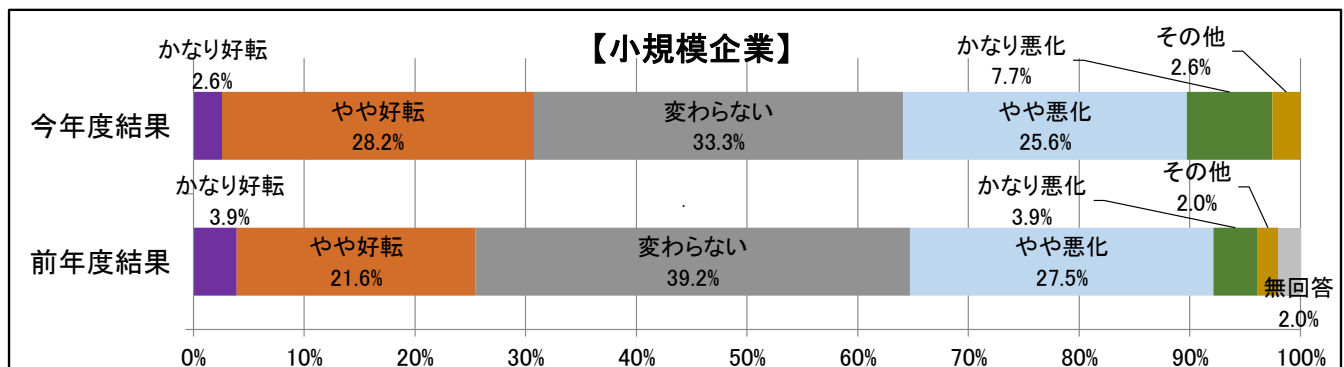
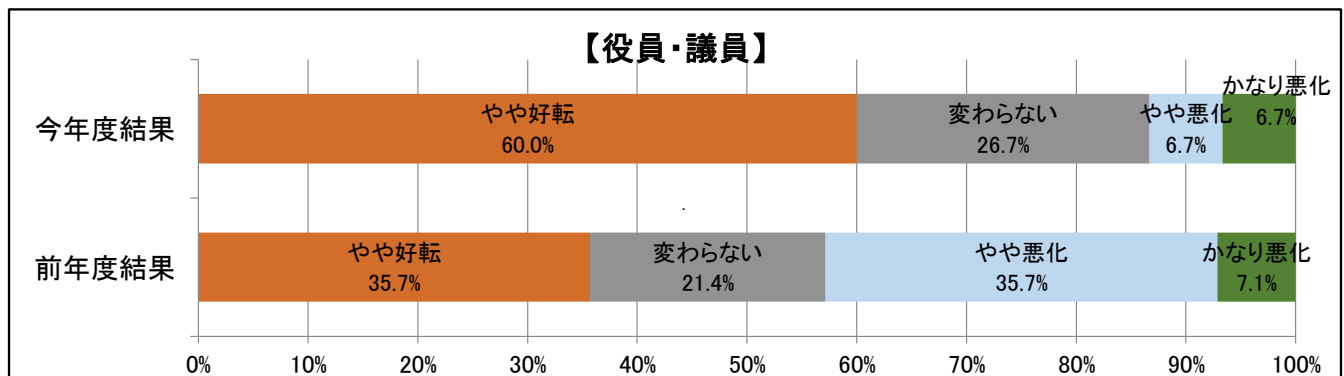


2021年 業況の見通し

サービス業・不動産業



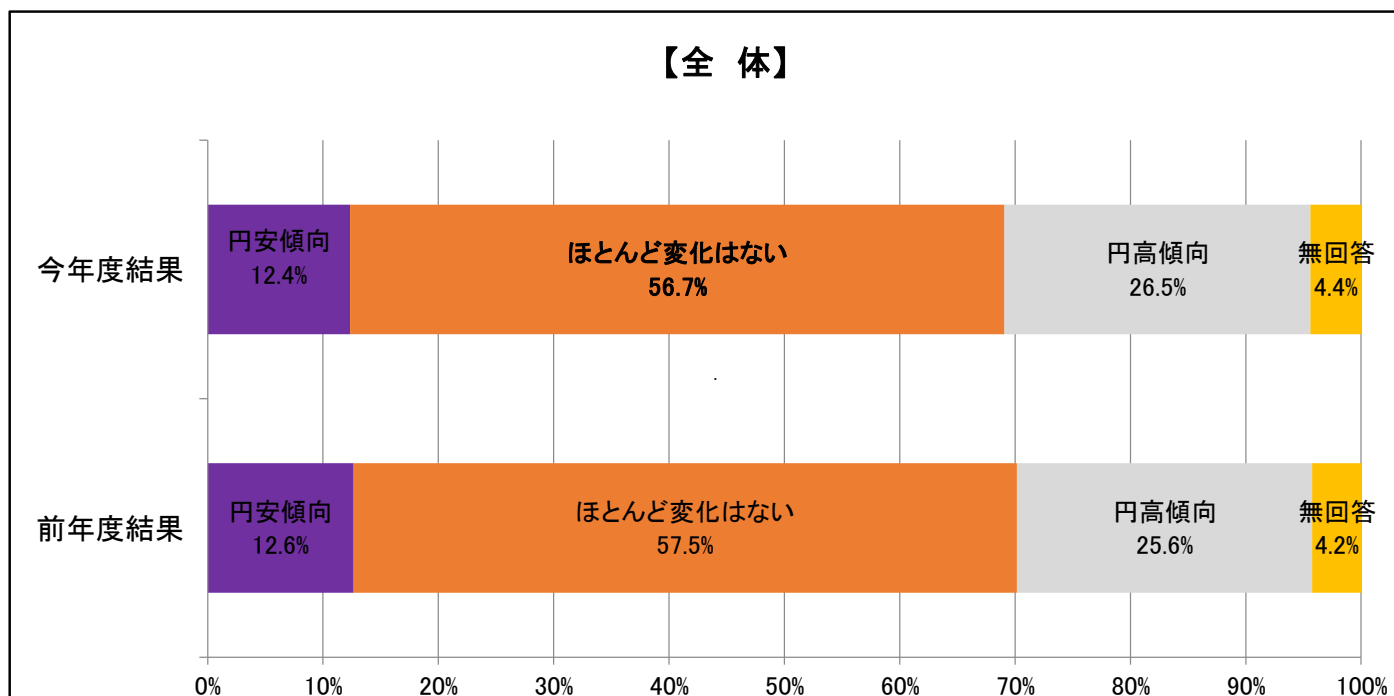
サービス業・不動産業の見通しは、「好転」は38.9%(対前年比+11.2%)、「悪化」が27.8%(対前年比-6.0%)で、「好転」が11.1%上回っており、全業種の中で唯一「好転」が「悪化」を上回った。



【役員・議員】は「好転」が60.0%(対前年比+24.3%)、「悪化」が13.4%(対前年比-29.4%)となり、好転が大きく上回った。【小規模企業】は「好転」が30.8%(対前年比+5.3%)で、「悪化」が33.3%(対前年比+1.9%)となり、悪化がわずかに上回った。

円市場予測

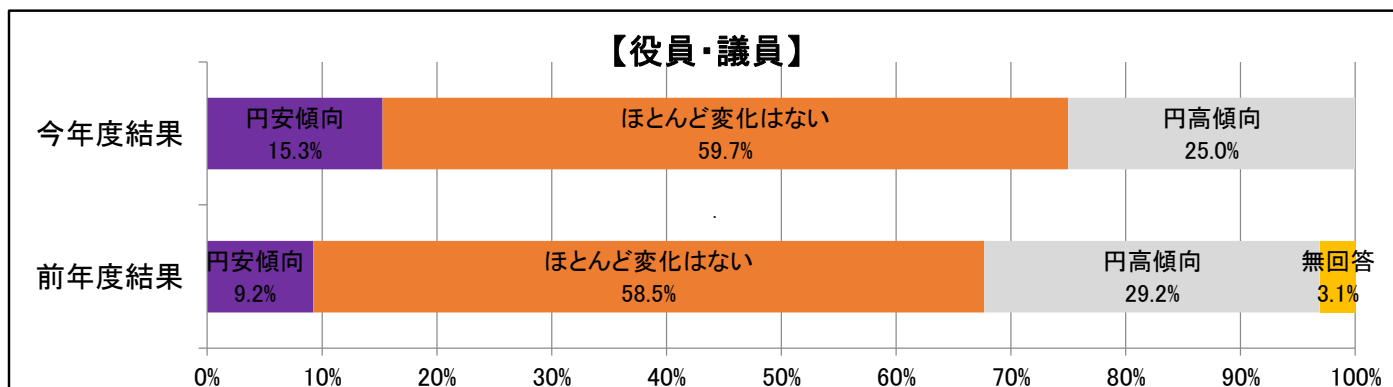
半数以上が「ほとんど変化はない」と予測。



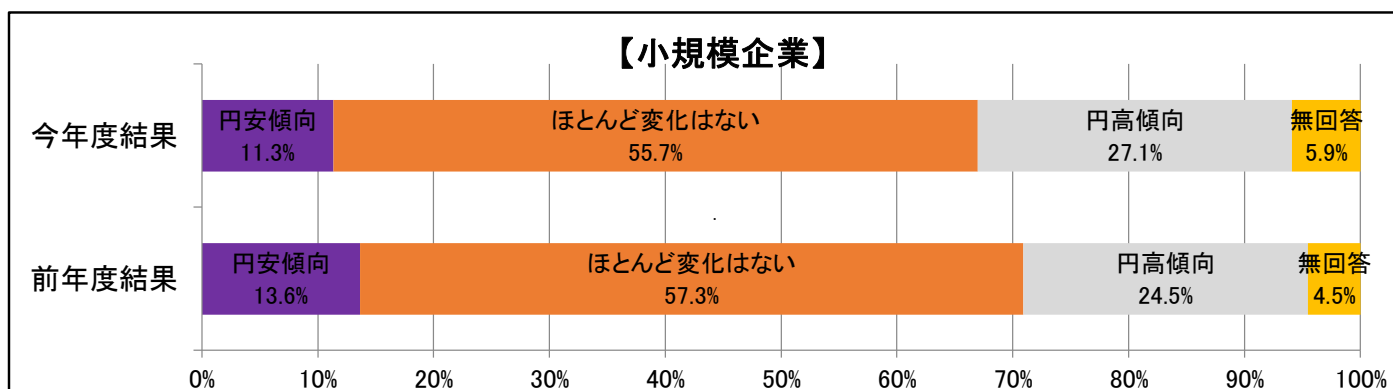
円市場の推移予測は、「ほとんど変化はない」が56.7%(対前年比-0.8%)で最も多く、前年とほぼ同じ予測となった。

規模別の円市場予測

【役員・議員】

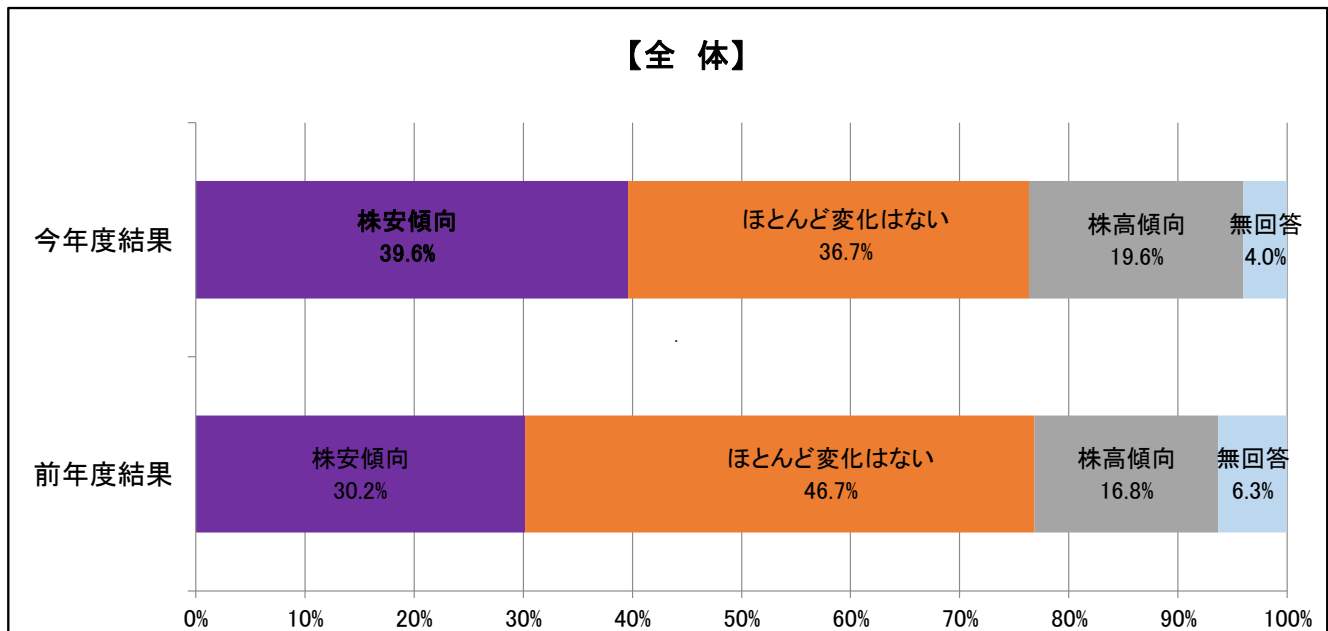


【小規模企業】



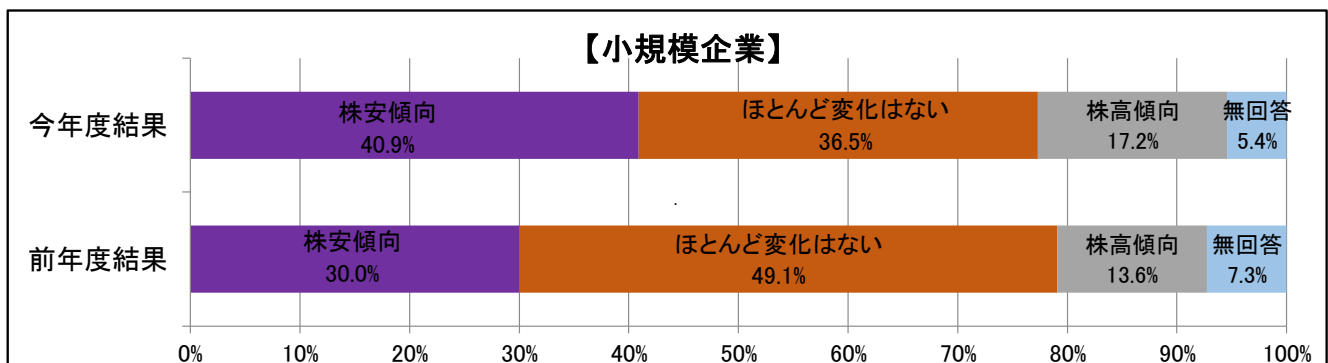
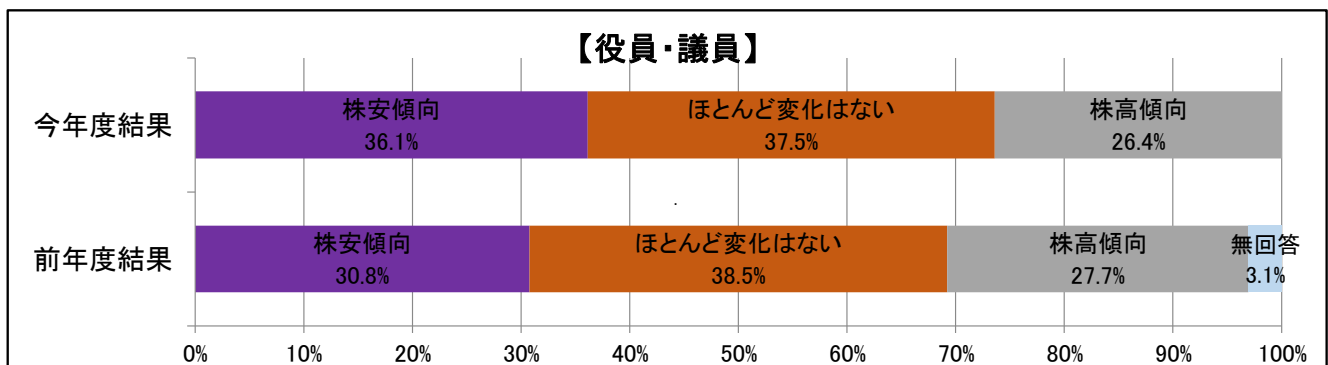
株式市場予測

高値水準を反映し、「株安傾向」と「ほとんど変化はない」の判断に分かれる。
その一方で、全体の約2割は「株高傾向」を予測。



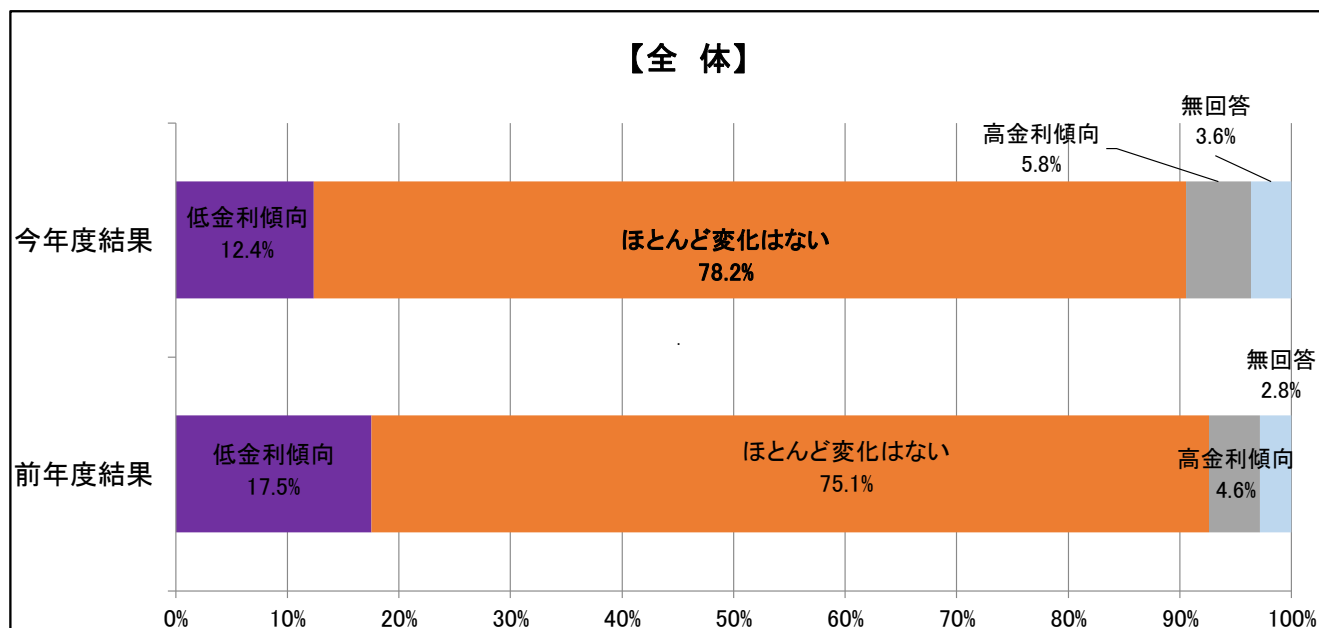
規模別の株式市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「ほとんど変化はない」と予測。



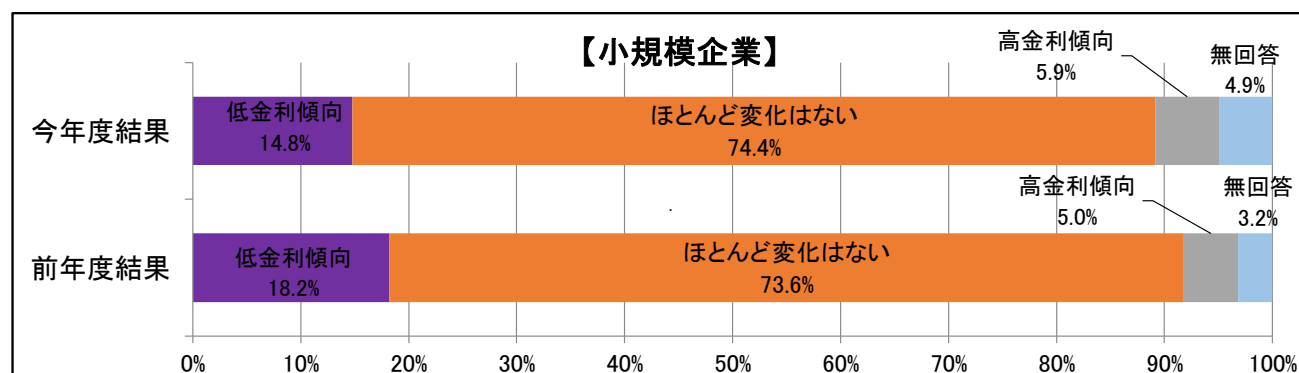
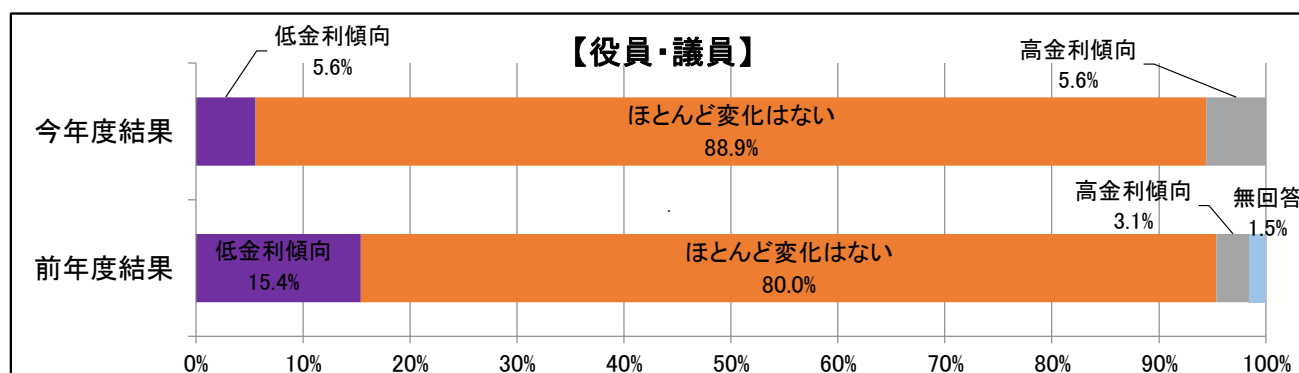
金利予測

約8割が「ほとんど変化はない」と予測。



金利の推移予測では、「ほとんど変化はない」が78.2%(対前年比+3.1%)で、「低金利傾向」が12.4%(対前年比-5.1%)、「高金利傾向」が5.8%(対前年比+1.2%)となった。

規模別の金利予測

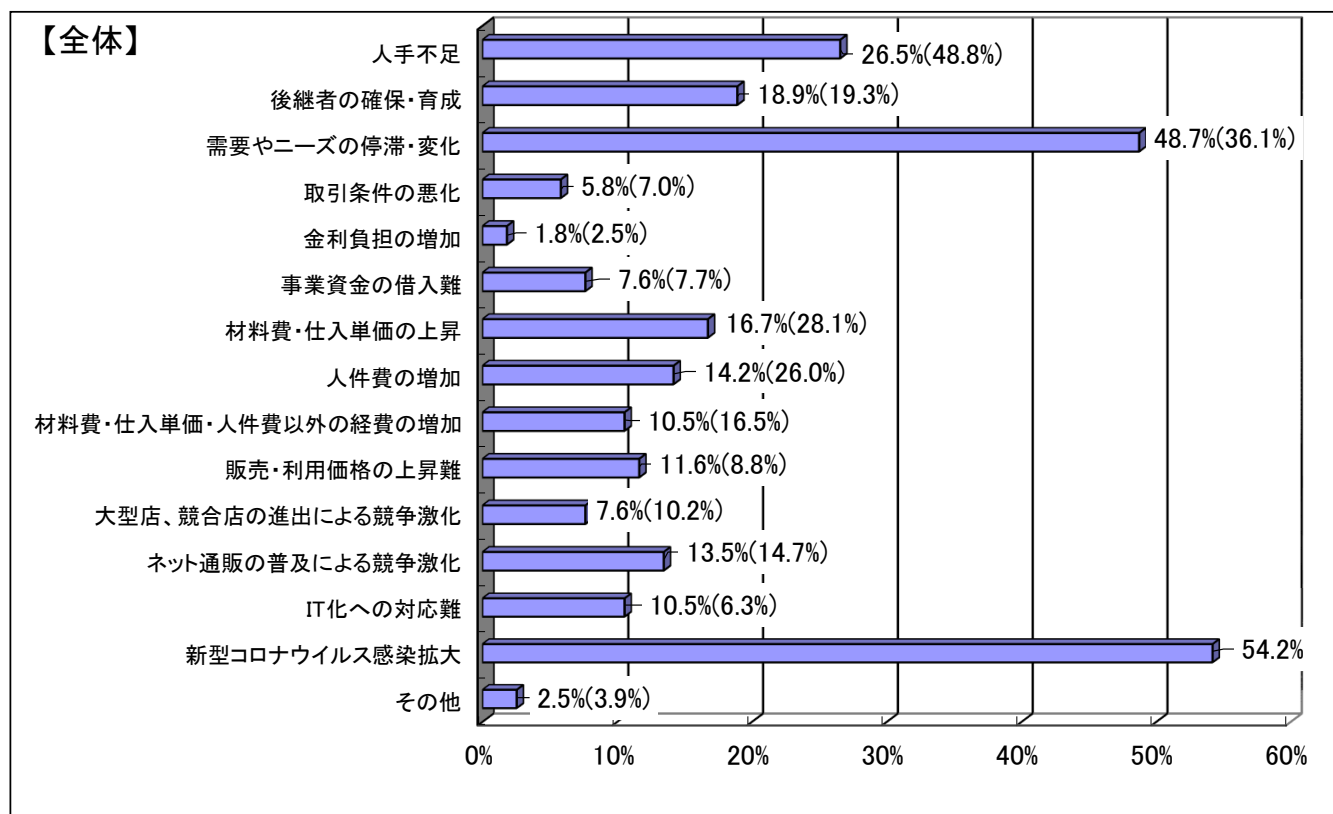


経営上の問題点

(複数回答)

※グラフの()内は、前年数値です。

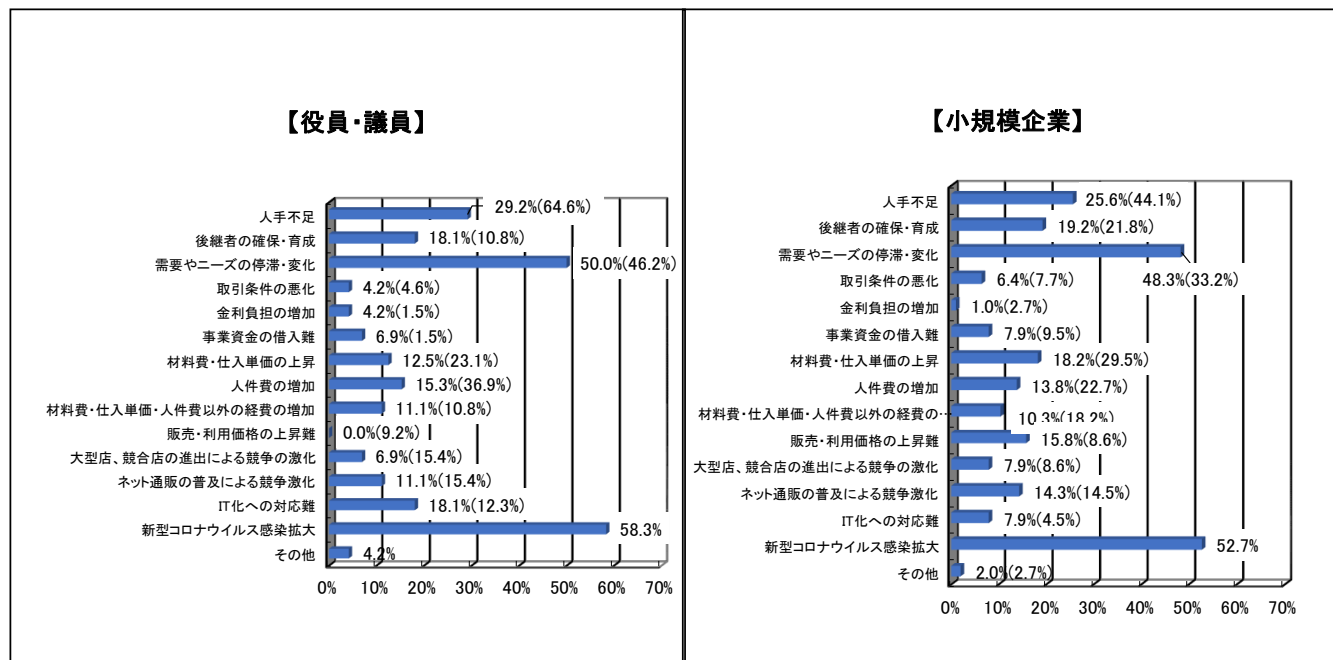
「新型コロナウイルス感染拡大」とそれに関連した「需要やニーズの停滞・変化」に集中。



経営上の問題点は、「新型コロナウイルス感染拡大」が54.2%、「需要やニーズの停滞・変化」が48.7%(対前年比+12.6%)で、新型コロナウイルス感染拡大による消費者の需要停滞やニーズの変化等への対応に迫られていることが鮮明になった。昨年最も多かった「人手不足」が26.5%(対前年比-22.3%)となった。

規模別の経営上の問題点

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「新型コロナウイルス感染拡大」が最も多くなっている。

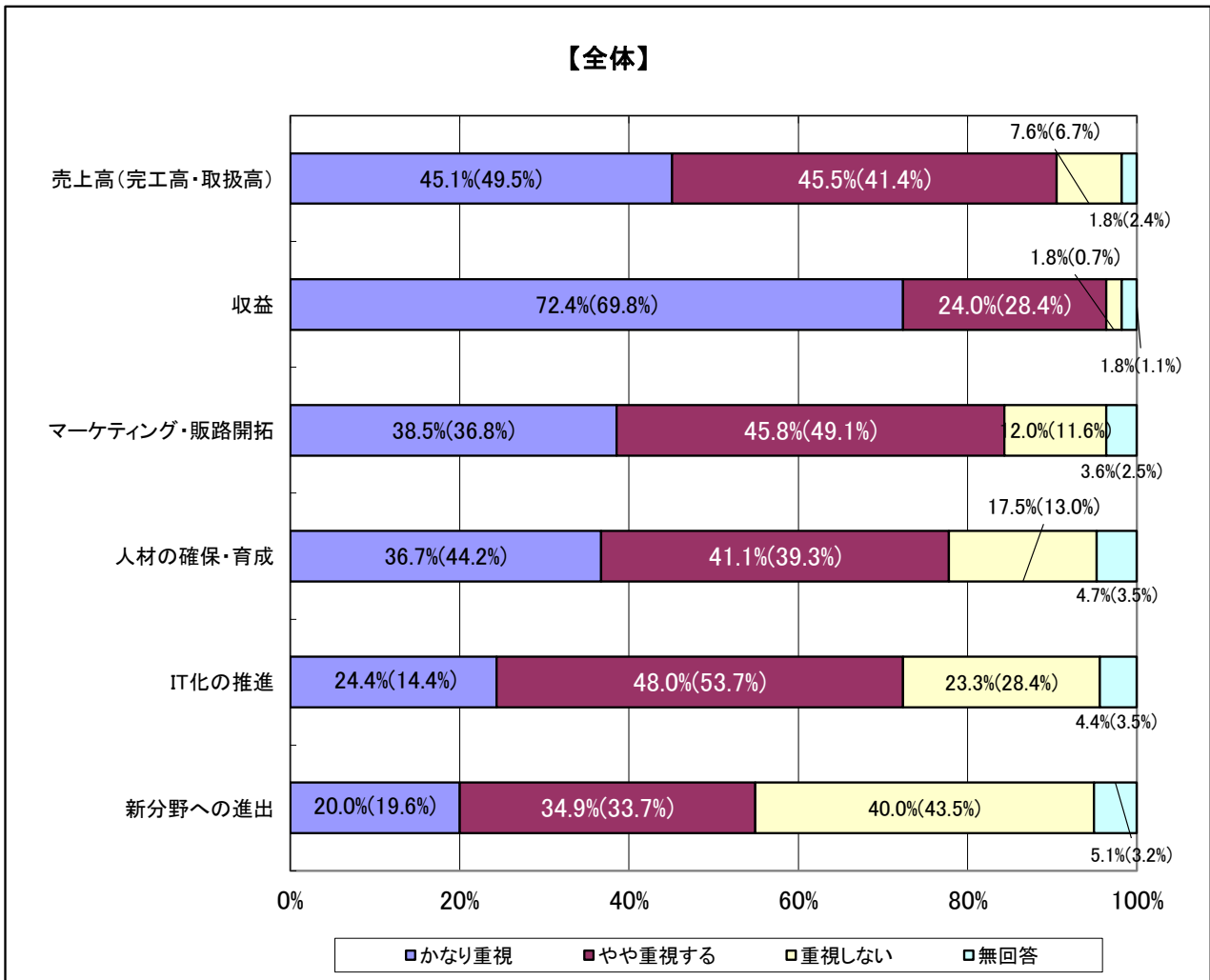


経営上の重視点

※グラフの()内は、前年数値です。

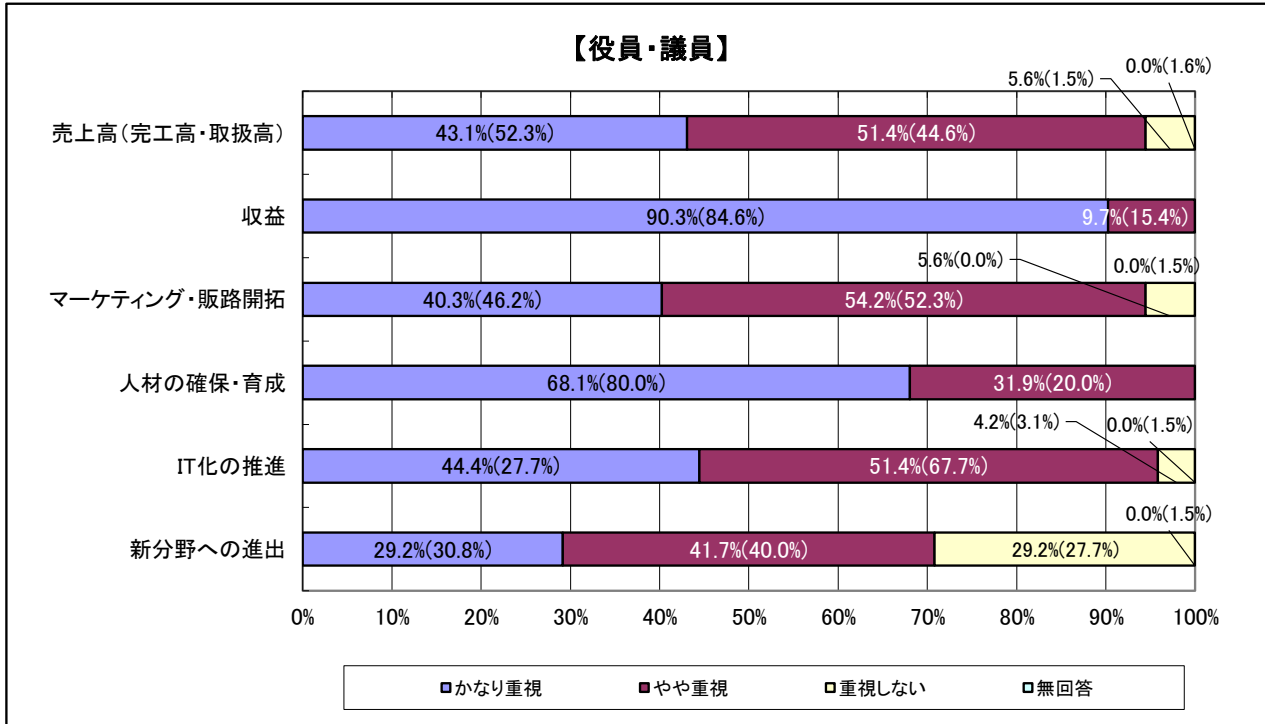
「重視する」割合が高いのは「収益」で96.4%(対前年比-1.8%)、次いで「売上高」が90.6%(対前年比-0.3%)、「マーケティング・販路開拓」で84.3%(対前年比-1.6%)となり、前年と同じ順位となった。

「IT化の推進」をかなり重視する割合が、24.4%(対前年比+10.0%)と増加しており、オンライン会議やリモートワークなど新しい働き方への対応が重視されている。

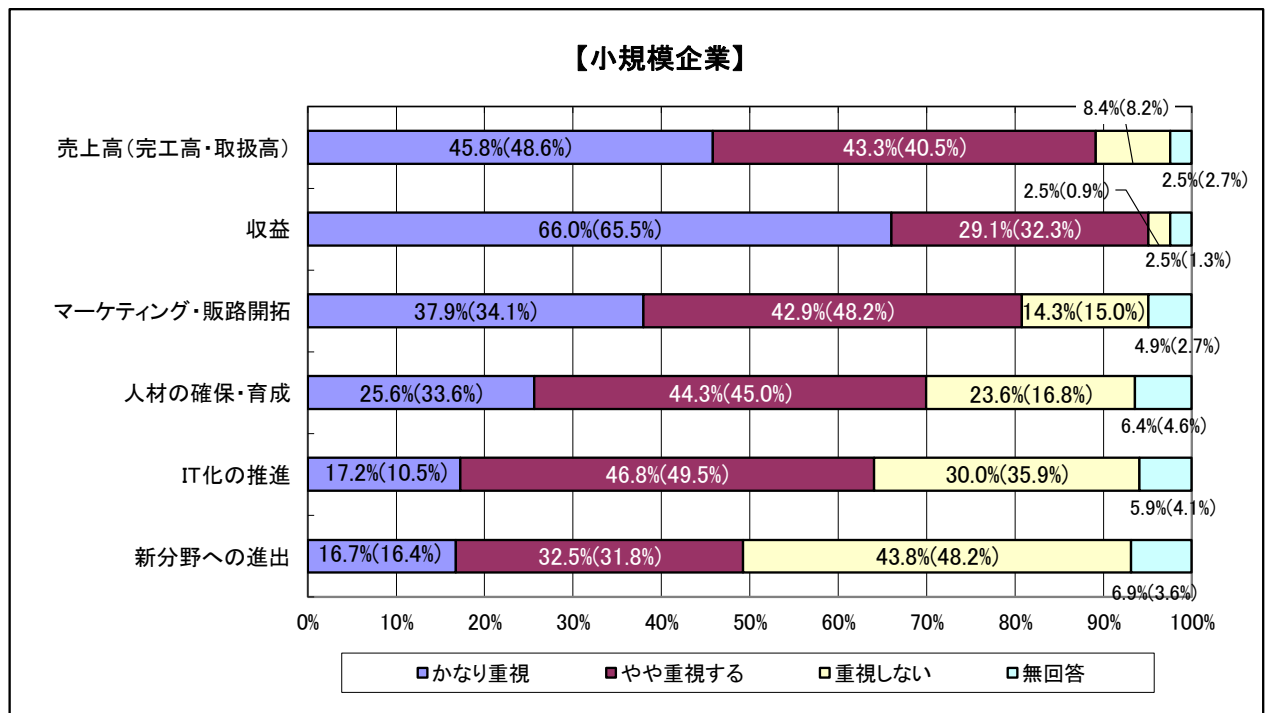


規模別の経営上の重視点

※グラフの()内は、前年数値です。



【役員・議員】では、「収益」、「人材の確保・育成」がともに100%となり、「IT化の推進」95.8%(対前年比+0.4%)、「売上高」94.5%(対前年比-2.4%)、「マーケティング・販路開拓」94.5%(対前年比-4.0%)の項目で9割を超えた。



【小規模企業】では、「収益」95.1%(対前年比-2.7%)、「売上高」89.1%(対前年比+0.0%)、「マーケティング・販路開拓」80.8%(対前年比-1.5%)の3項目で8割を超えたものの、「人材の確保・育成」69.9%(対前年比-8.7%)、「IT化の推進」64.0%(対前年比+4.0%)は7割未満となっており、規模によって経営上の重視点の違いが見えた。

1. 2020年の売上(見込みを含む)状況について【対前年比】

【全体】では、前年比-20.6%となった。【役員・議員】は、-14.4%、【小規模企業】は-22.9%と、【小規模企業】の方が減少幅は大きくなっている。

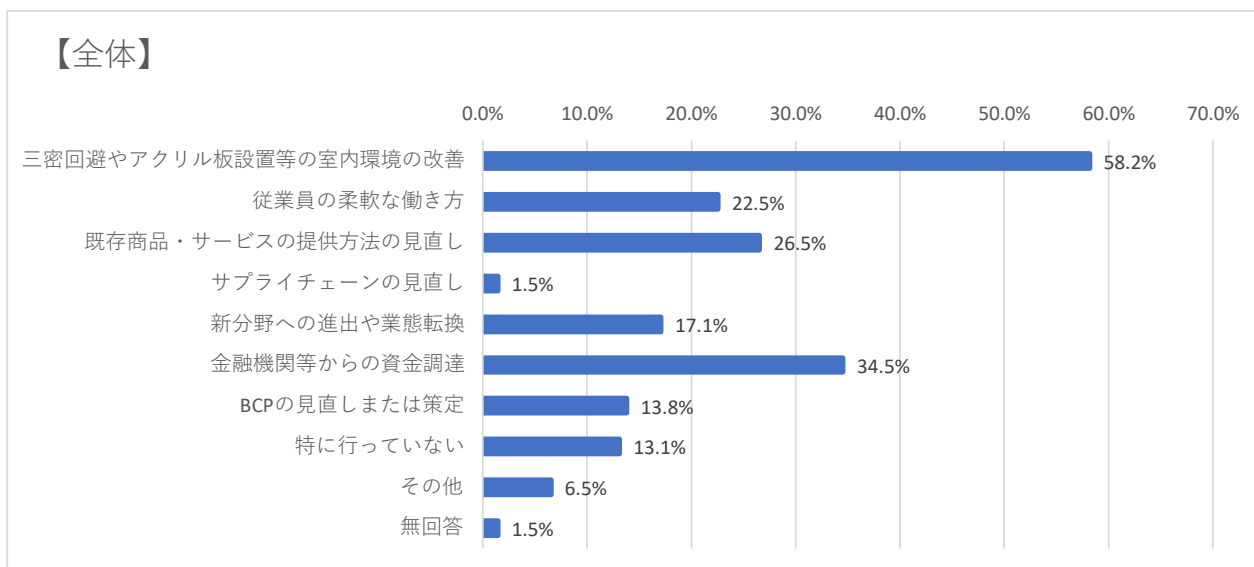
【全体】
 平均値:-20.6%(最小値:-98%、最大値:+250%)

【役員・議員】
 平均値:-14.4%(最小値:-80%、最大値:+20%)

【小規模企業】
 平均値:-22.9%(最小値:-98%、最大値:+250%)

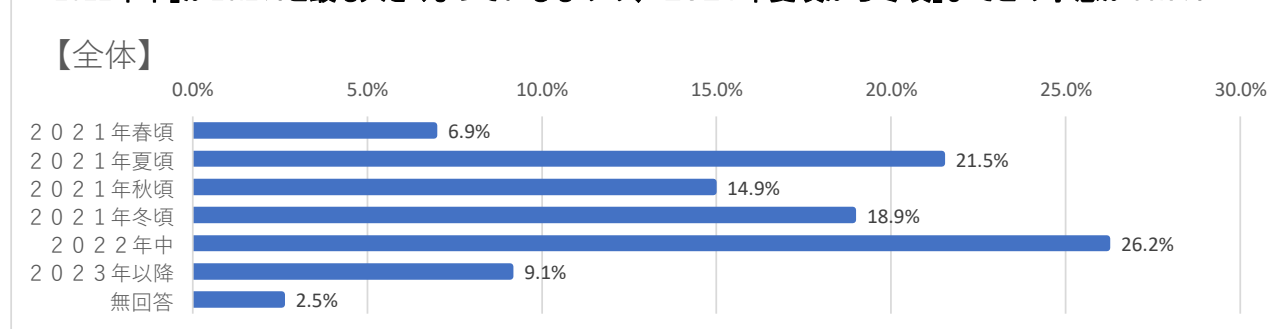
2. コロナ禍で行っている(検討している)取組について

「三密回避やアクリル板設置等の室内環境の改善」が58.2%、次いで「金融機関等からの資金調達」が34.5%



3. 新型コロナによる影響はいつまで続くと想定されるか

「2022年中」が26.2%と最も大きくなっているものの、「2021年夏頃から冬頃」までの予想が55.3%



2021年経済予測アンケート

(役員議員・モニター)

景気・業況

Q1-1 貴社の業種について、該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。
(複数の業種にて営業されている場合は、最も売上の大きい業種を選択してください)

- (1) 製造業 (2) 建設業 (3) 運輸・通信業
(4) 卸・小売業 (5) 飲食業 (6) 金融・保険業
(7) サービス業・不動産業 (8) その他 ()

Q1-2 県内の景気の現状について昨年(2019年)11月と比較して、どのように感じておられますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり好転 (2) やや好転
(3) 変わらない (4) やや悪化
(5) かなり悪化 (6) その他 ()

Q1-3 貴社の現在(2020年11月)の業況を基準に、2021年の業況の見通しについて、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり好転 (2) やや好転
(3) 変わらない (4) やや悪化
(5) かなり悪化 (6) その他 ()

円市場

Q 2 現在（2020年11月中旬）の為替水準を基準に、2021年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。

該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 東京外国為替 円(1ドル=円) (11月17日)

【終値】 104.17

- (1) 円安傾向 (2) ほとんど変化はない (3) 円高傾向

株式市場

Q 3 2021年の株式市場の見通しについて、現在（2020年11月中旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。

該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 国内株式 日経平均(円) (11月17日)

【終値】 26,014.62

- (1) 下がる (2) 変わらない (3) 上がる

金利

Q 4 2021年における金利の見通しについて、今年（2020年11月中旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。

該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) 下がる (2) 変わらない (3) 上がる

経営の重視点

Q 5 2021年に貴社の経営上、重視される点についてお答えください。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄に○印をお付け下さい。

	かなり重視	やや重視	重視しない
1. 売上高（完工高、取扱高）			
2. 収益			
3. マーケティング・販路開拓			
4. 人材の確保・育成			
5. IT化の推進			
6. 新分野への進出			

経営の問題点

Q 6 2021年における貴社の経営上の問題点についてお答えください。該当する番号を3つ以内で、○でお囲み下さい。

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| (1) 人手不足 | (2) 後継者の確保・育成 |
| (3) 需要やニーズの停滞・変化 | (4) 取引条件の悪化 |
| (5) 金利負担の増加 | (6) 事業資金の借入難 |
| (7) 材料費・仕入単価の上昇 | (8) 人件費の増加 |
| (9) 材料費・仕入単価・人件費以外の経費の増加 | (10) 販売・利用価格の上昇難 |
| (11) 大型店、競合店の進出による競争激化 | (12) ネット通販の普及による競争激化 |
| (13) IT化（IoT・AIの活用等）への対応難 | (14) 新型コロナウイルス感染拡大 |
| (15) その他（ | ） |

コメント

新型コロナウイルス感染症関連や熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること等について、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

(※追加調査)

新型コロナウイルス感染拡大について

- Q7-1 新型コロナウイルスの影響による前年と比較した今年の売上(見込みを含む)を前年比±〇%でお答えください。
(例：売上が前年より40%減少 → -40%)

_____ %

- Q7-2 新型コロナウイルス感染拡大後、行っている(検討している)取組について、該当する番号を○でお囲み下さい。(複数回答可)

- (1) 三密回避やアクリル板設置等の室内環境の改善
- (2) 従業員の柔軟な働き方(テレワーク等)
- (3) 既存商品・サービスの提供方法の見直し
- (4) サプライチェーンの見直し
- (5) 新分野への進出や業態転換
- (6) 金融機関等からの資金調達
- (7) BCP(事業継続計画)の見直しまたは策定
- (8) 特に行っていない
- (9) その他()

- Q7-3 新型コロナウイルス感染症による影響は、いつ頃まで続くと想定されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) 2021年春頃
- (2) 2021年夏頃
- (3) 2021年秋頃
- (4) 2021年冬頃
- (5) 2022年中
- (6) 2023年以降

※差支えなければ、事業所名のご記入をお願い致します。

(事業所名)

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343/096-352-5202